

# 沖縄「返還」から50年 辺野古新基地NO

50年前の5月15日は、米軍占領下にあった沖縄の施政権が日本に返された日です。凄惨な沖縄戦の後も、沖縄は米軍に土地を奪われて基地にされ、人権を蹂躪され続けました。「沖縄返還」は、「基地のない平和な沖縄」を求める県民の運動で実現したのです。

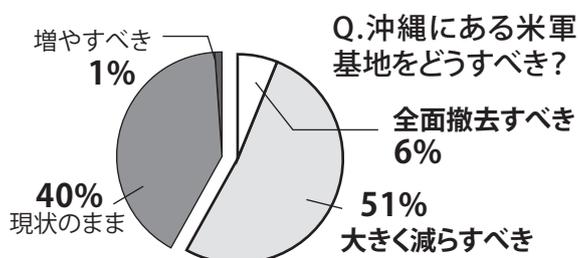
## ロシアはウクライナから撤退を!

ロシアのウクライナ侵略は、国連憲章と国際法に違反する蛮行です。ロシアはただちに撤退すべきです。

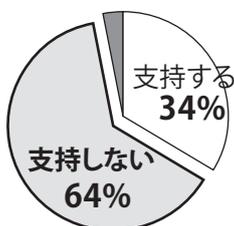
一方で重大なのは、この機に乗じて、岸田政権などから非核三原則の見直しや基地強化、憲法改悪の動きが強まっていることです。核と軍事の対立を煽れば、戦争の危険を高めます。軍縮と緊張緩和、平和な国際秩序を実現する外交努力にこそ、力を注ぐべきです。



### 共同通信の世論調査より(5/5付)



Q. 米軍普天間飛行場の名護市移設を巡り、19年の沖縄県民投票で反対が多数を占めたが、政府は工事を行っている。政府の姿勢を支持するか。



戦争の危険をさらに押し付けるのが、沖縄県名護市辺野古の米軍新基地計画です。斎藤国土交通相は4月、軟弱地盤改良に伴う国の設計変更を不承認とした沖縄県の処分を取り消す裁決を発表しました。しかし裁決により、設計変更申請が承認されたわけではありません。県民は辺野古の基地建設中止を繰り返し求めてきました。全国の世論調査でも、基地建設反対が多数を占めています。国は裁決を撤回し、新基地建設計画を今すぐ中止すべきです。

**辺野古新基地建設中止と  
普天間基地撤去を求める署名に  
ご協力ください!**

**参院選** (6/22公示、7/10投票)、**沖縄県知事選** (8/25日告示、9/11投開票) で、新基地建設反対、普天間基地撤去の審判を!



**日本平和委員会**

2022年5月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです  
「平和新聞」(旬刊)、「平和運動」(月刊) 発行中

<http://j-peace.org/> (t) (f)

